

定員の1割ほどが付属高校からの内部推薦枠!

主な中堅総合私立大学医学部への付属校推薦の状況

	日本大学 医学部	東海大学 医学部	近畿大学 医学部	福岡大学 医学部
付属高校数	26校	14校	7校	2校
一般選抜 偏差値 (ベネッセ (B判定: 2021年度))	74	73	74	72
一般選抜 などの 募集人數 (21年度)	A個別方式 (22年度入試 から廃止) 97人 N全学統一 方式第1期 10人	一般選抜 60人 共テ利用 10人	一般 (前後期計) 60人 共テ利用 (前中後期計) 10人	一般選抜 65人 共テ 5人
一般選抜 などの 志願者 合格倍率 (21年度)	A方式 10.4倍 N全学統一 方式 26.2倍	一般選抜 26.1倍 共テ 13.1倍	一般選別 (前期) 13.5倍 共テ利用 (前期) 15.5倍	一般選抜 13.1倍 共テ利用 4.5倍
付属高校 内部推薦枠	10人	20人	10人前後 (付属高校ごと に募集人數が 異なる)	最大8人
付属中学校 の偏差値 (日能研: 合格率80%)	日大豊山 44~51	東海大浦安 38~39	近大附属中 (医薬) 43~44	福大大濠 男51、女53
内部推薦の 選抜方法	1次:校内の基礎学力到達度 テスト(計3回) の合算成績順、 2次:面接	学園基礎学力 定着度テスト の成績	学科試験によ る選抜は基本 的に免除(校 内試験や外部 模試で一定の 学力基準を求 められるこ と)。医師と しての心構え、 倫理観、生命 尊重の姿勢な どを重視	学校推薦型選 抜を受ける
その他の 選抜募集数	校友子女 選抜 (日大卒業生と 日大教職員の 子女が対象) 5人 地域枠選抜 (認可申請中) 5人	地域枠 (2県) 8人 総合選抜 10人 特別選抜 10人	地域枠 (認可申請中) 17人 (1府3県) 推薦入試 一般公募 25人	学校推薦型 選抜 40人 (A方式と地 域枠。地域枠には 属校推薦を含む)
6年間の 学費総額	3338万円	3530万 6200円	3582万 7000円	3773万 8260円
医師国家試験 合格率 (21年度)	86.8%	87.6%	87.3%	88.1%

策が不可欠であるような難問・奇問は出ない。

2次試験では、昨年まで適性試験・小論文試験も課せられていたが、今年から面接のみになつた。それ故、大手予備校の偏差値で50台半ばの生徒でも日大医への内部推薦を勝ち取ることができているという。

続く東海大医の選抜方法も、基礎学力を測るために各付属高校の生徒が受ける「学園基礎学力定着度テスト」の成績だ。医学部への内部推薦枠は全体で20人。付属高

校14校のうち、高輪台や相模、浦安からの合格者が多いようだ。

近大医への内部推薦で より重視されるのは 医師としての心の資質

一方、特徴的なのが近大医。付属高校各校で募集人員の定員が決まっており、例えば近大附属（医薬コース）の場合は4人だ。また近大附属（医薬コース）の生徒は学科試験による選抜は免除されているが、校内成績や外部模試の成

近大医への内部推薦で
より重視されるのは
医師としての心の資質

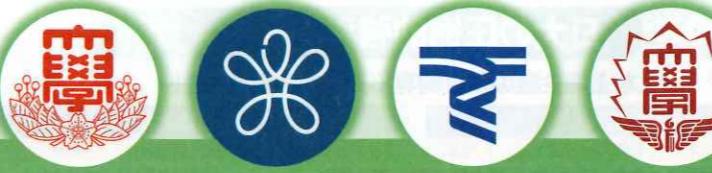
績で一定の基準が必要になることもあるとされる。

そして、近大医における内部推薦で「学力以上に重視しているのが、生徒の医師としての心構えや倫理観、生命尊重の姿勢」(可児氏)だ。内部推薦による合格者は医学部入学後も優秀とされ、留年者は過去一人もおらず、医師国家試験にも全員が現役で合格しているという。

最後の福岡大医は、付属高校の生徒であっても他校の生徒と同じ「学校推薦型選抜」を受験する

ことになる。同選抜方式の募集人
数40人のうち、最大8人が内部推
薦枠となつてゐる。学科試験は、
やはり教科書レベルの基礎学力を
問うもので、科目も英語と数学の
み。あとは集団面接が課せられる
だけだ。

左表は4大学医学部の一般入試
と内部推薦の比較だ。子どもが医
学部受験を考えているならば、下
手に難関中高一貫校を受験するよ
りも、こうした医学部への内部推
薦がある付属校を考えるのもあり
だろう。



**日大・近大・東海大・福岡大の医学部へGo!
中堅私大医学部の「付属校推薦」を徹底解剖**

国公立大学医学部はもちろん、あらゆる私立大学医学部が狹き門となって久しい。「勉強はそれほど得意でないが最低限でも中堅私大に。あわよくば医学部も狙わせたい」——。そんな親の希望にうってつけなのが、医学部を擁する中堅私立総合大の付属校からの内部推薦を利用した医学部進学だ。

「予備校が出す偏差値では、日大医、近大医共に早慶の理工系学部と同程度の難易度で、かなりの難関となっている」と言うのは、医学系専門予備校メディカルラボの児良友本部教務統括だ。

その上、「日大医は2022年度入試から試験が変更されて全学統一入試方式になるが、近大医などの私大医学部の入試問題の多くは医学科独自に作成されるため、他の理系学部よりも難問が出題される」(同)という。

私立大医の合格難易度 一般入試突破よりも 内部推薦の方が低い

また、一般選抜における倍率は空前の医学部人気を背景に10倍を大きく超えるのが当たり前となっている。

抜に比べると付属校からの内部推薦の方が受かりやすく、かつ挑戦の回数が増え るという意味でチャンスも 広がる」と可児氏。

付属校から医学部への内 部推薦といえば、内部進学 率が90%超と「ほぼ全入」の川崎 医科大学がよく知られている。 しかし、学費の高さも有名で、 学部6年間だけで総額4700万 円超だ。もともと高額な学費がかかる私立医学部の中でも群を抜く。 また、当然ながら単科大学であるため、子どもの興味が他の学問に 移つても内部推薦で進学する学部 を選べない。

そこで、中学・高校受験で慶應 大付属校への進学は学力的に厳し いが、あわよくば医学部への内部 推薦を狙いたいという層にお薦め の中堅私立総合大として、日大、 近大、東海大学、福岡大学の4大 学をピックアップ。つまり、受か

りやすい上に、子どもの選択肢の幅も狭めないお得な付属校＆大学たちだ。

まずは日大医への内部推薦から見てみよう。選抜の1次試験は、付属高校の生徒が受ける「基礎学力到達度テスト」の成績だ。

高2の4月、高3の4月と9月の計3回のテストの成績を2：2：6の比率で合算し、医学部への内部推薦を希望する生徒の成績上位者が2次試験に進む。

この基礎学力到達度テストは、文字通り生徒の基礎力を問うテスト。全生徒の平均点が70点前後になるよう作成されているという。つまり、大学一般入試のように対



*共テは共通テストの略。大学偏差値はベネッセコーポレーションの進研模試「大学入学共通テスト模試・6月」。中学偏差値は日能研の「2021年入試 結果R4偏差値」。医系専門予備校ドリフィカルラボへの取扱いは各大学HPなどに其にダイヤモンド編集部作成